

TOPICS

- ▶ 令和7年度 練馬区当初予算及び各事業に対する要望書を提出!
- ▶ 感染症対策や経済対策等を盛り込んだ補正予算(約47.1億円)を成立!
- ▶ ふるさと納税による住民税流出額は50億超!
- ▶ 4名が代表して、一般質問を行いました。
小泉純二議員、かしままさお議員、高橋しんご議員、佐藤力議員

令和7年度 練馬区当初予算及び各事業に対する要望書を提出!



9月5日、練馬区議会自由民主党は、令和7年当初予算に向け、区民や各種団体(約60団体)の要望を踏まえて、政策提言書を取りまとめ、練馬区長に提出しました!

感染症対策や経済対策等を盛り込んだ補正予算(約47.1億円)を成立!

ワクチン接種費用を助成

新型コロナウイルス感染症、肺炎球菌感染症、及びインフルエンザに対するワクチン接種費用を助成し、区民の皆様様の健康を守るとともに、感染症対策の強化を図ります。



入札不調への対応

令和5年度の入札案件303件のうち50件が、建築業界の人手不足等を主な理由として入札不調となっています。入札不調が発生すると、当初計画していた改築・改修工事が予定通り実施できず、区民の皆様にご迷惑をおかけすることになります。そのため、入札不調の改善策を講じ、計画通りに事業を進めるための対応を強化します。



ふるさと納税による住民税流出額は50億超!

ふるさと納税によって流出した練馬区の住民税は年々拡大しており、令和6年度の流出額は51億円に達すると見込まれています。これは、特別区民税(住民税)の約8%に相当し、非常に深刻な状況です。地方交付税交付団体であれば、流出額の75%が国から補填されますが、練馬区は不交付団体のため補填がなく、流出額の増加がこのまま続けば、行政サービスの質が低下する恐れがあります。

練馬区に対して、ふるさと納税制度の抜本的な見直しを国に求めるとともに、魅力的なプロジェクトを企画し、多くの寄付を集められるような戦略を立て、積極的に取り組むことを強く要望しています。

